

あづま袋の由来と作り方

(インターネット情報を参照に作りました。)

「あずま袋」ではなく「あづま袋・吾妻袋」

昔から包む文化のあった日本に、西洋の文化が浸透し、包み物から袋物の過渡期に作られたものと考えられます。

江戸時代の頃から西洋の鞆の便利さを参考にして、風呂敷や手ぬぐいを縫い合わせて作った、日本の知恵のようです。

吾妻は、「私の妻」という意味じゃなくて、「東方、江戸」という意味で、江戸時代の江戸の町で生まれたもののようです。

〈あづま袋の作り方〉



100円均一のお店に色とりどりの日本手ぬぐいがあります。



例 : 30×90

このようにたたみます。



右はじをつまむように持ちながらたたみます。



重なっている部分を手縫いまたはミシンで縫います。



完成



マチをつけたアレンジ作品